

もくじ

- | | |
|---------|-----|
| 一年を顧みて | 1 |
| 切り絵の魅力 | 2 |
| 認定こども園 | 3 |
| ふれあいサロン | 3・4 |
| 宮田小だより | 4 |
| 駒王中だより | 5 |
| みやたのくらし | 5 |
| 支部だより | 6 |

宮田 まなざし

宮田学区
コミュニティ推進会
第113号
令和4年3月20日発行
〈発行責任者〉
岩間廣道
〈編集〉
広報部



暦の上では、とうに春の候
スギ花粉が飛散する一方で、
膨らみ始めた日立市の花「サ
クラ」の蕾の爽やかな香りが
身の回りに漂いはじめる季節
となりました。学区内にお住
まいの皆様におかれましては
お変わりなくお過ごしのこと
と存じます。長く花粉症でお
悩みの方々には時節柄、やた
ら咳や鼻水、くしゃみで誤解

さて、今年に入ると落ち着いていたコロナ禍は猛烈な勢いでデルタ株からオミクロン株に置き換わり、世界中を懼かせています。わが国でも感染者が増え続けて最多数を更新、全国都道府県に「まん延防止等重点措置」が発出され、それもまた延長されるという事態になっています。そのため、昨年6月からコロナ感染

「H(避難所) U(運営) G(ゲーム) 訓練」を日立市で初めて実施しました。可能な限り少人数での体験型訓練の試みがありました。

起きた山火事のあと「助川山市民の森」として整備されている。青葉台団地を抜けた駐車場から、ハイキングコースをゆづくり1時間弱で辿り着く。山頂からは360度のパノラマが待っていた。

青い空と太陽の光を受け、キラキラと輝く太平洋が遠く南北に広がり、眼下には海岸線に沿つた市街地。西へ目を

を招きたくないとお考えの方
も少なくないと思います。

宮田学区「ミニユーティ推進会」 この一年を振り返って

学区コミュニティも、このの
ちニューノーマルとなるであ
ろう「テレビ会議」への準備
も進めてまいります。

ふれあい

流行語になりそうな言葉が「リモート」で、国も大いに推奨しています。市役所もデジタル推進課を新設、会議をはじめ授業や仕事に利用しようとしています。

また、利用者の高齢化に伴つて、利用団体の減少も目立つてきてています。世代交代だと言えばそれまでですが、グループ活動をしている方々も少なくないと思っています。「明るい町・宮田」を持続させるためにも、参加のご検討を心から願っています。

耳にする。心身の元気な状態を保つ「健康寿命」をいかに延ばすかが問われている。まずは、病気や怪我の予防、そして健康づくりを行うことが大切である。日常生活がいろいろと制限されている今、これから暖かな季節を迎える。一步外へ出て、新鮮な空気と身近にある景色でリフレッシュすることも、健康寿命を延ばす一つかも知れない。

宮田まなざし



切り絵展(角記念市民ギャラリー)

私が塾の講師として真壁町へ赴任したのは、今から20年前。古い建物が好きな私にとって、そこはお宝の山でした。町歩きしていると、必ず言つていいほど「どこから来たの?」と聞かれます。

「立からです」と答えると、「よく来たね。でも、この町には何もないでしょう」と返ります。こんなに素敵な町なのになど思いながら軽く会釈して散策を続けました。

そうこうしているうちに新年度を迎え、町が活気づいてきたのです。今こそ有名になつた「真壁のひなまつり第2章」の準備が始まつたのです。



北町子ども鳴物

あちこちから聞こえてきて、やつぱりこの町には魅力があると確信しました。すると、明るい声や笑い声がする。初めては写真やスケッチで町の紹介をしていましたが、古い町にふさわしい表現方法はないかと模索していた時、本屋で見つけた切り絵の本にピントきたのです。それからは、しか切り絵の仲間も増え、今では「石と蔵と切り絵の町」と言つてもおかしくないほど、町中に作品が飾られるようになりました。

2年前に日立へ戻つてくると、シャッター通りの商店街

ぐ会釈して散策を続けました。年を迎えたので、町が活気づいてきたのです。今こそ有名になつた「真壁のひなまつり第2章」の準備が始まつたのです。

や賑わいをなくした町並みが目に入りました。人口も急速に減少していく、子どもの頃に見ていた町の姿はすでになくなつていたのです。

日立でも切り絵で何かお手伝いできなかつと思つていたところ、学区内にある宮田交流センターから切り絵教室のお誘いが来了のです。さらに中学の時の同級生から「自宅サロンで切り絵教室をしませんか」と声をかけられました。

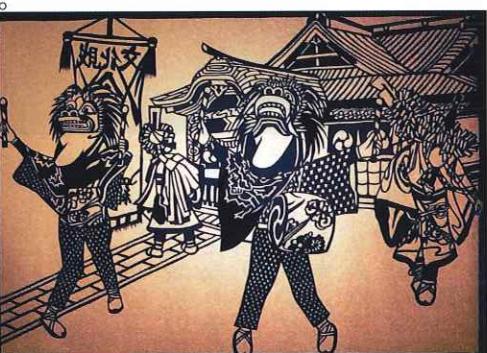
こうして、日立での新たな切り絵活動が始まつたのです。するとともに、ホテル天地閣で「第1回切り絵展」を開くことができました。今年2月には、日立市役所主催の企画展を角記念市民ギャラリーで開催しました。多くの方に作品を観ていただき、少しづつ

切り絵で魅力を伝えたい

たけふた としお
竹蓋 年男



日立市出身。
2003年に塾の講師として真壁町へ赴任。茨城県で開かれた国民文化祭をきっかけに作品制作を始める。
2014年に地元の旅館で初の個展を開き、その後は切り絵教室や切り絵の会を通して町おこしの活動を続けている。



佐々羅の舞

認知されてきたような気がします。

日立市を題材にした

作品は、これまでにも

「日立風流物」をはじめ、「佐々羅の舞」、「御

岩神社」を切り取ろうと思つて

います。たとえば、小

学生の時の遠足で歩いた金山百体觀音や紅葉

に染まる小木津山自然

公園などです。もちろ

ん、歴史のある大甕倭

文神社や泉神社、流鏑馬が継承されている大

久保鹿嶋神社なども作

品の候補に入っています。

そして最も描きたいのは、かつて行われていた小木津浜

風流物や河原子風流物など、

地元の人も忘れない歴史のひとコマです。このよう



野口雨情コンサート(童謡『赤い靴』より)



市立みやた認定こども園
園長 照沼理恵

日頃より宮田学区コミュニティ推進会および地域の皆様方には大変お世話になり、ありがとうございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

103名が元気いっぱい過ごしています。

しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症対策に追われた一年となってしまいました。

園児の安全を最優先しながら成長を促す活動を職員一同、日々考え模索し、昨年よりもさらに楽しく、より充実した保育の展開に努めてきました。

近くにかみね公園と動物園がある好立地を活かし、一年を通して何度も足を運びました。春は桜の花びらを集め、夏は展望台の風の心地よさを感じました。また、秋はどんどん木のぬくもりを感じる部屋で0歳児から5歳児までの園児舎への引っ越しも無事に終わり、新しい環境での生活をスタートすることができました。

皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしていましたが、おかげさまで昨年8月末に新園舎設立に際しましては、近隣みやた認定こども園の新園舎設立に際しましては、近隣の皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしていましたが、おかげさまで昨年8月末に新園舎設立に際しましては、近隣の皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしていましたが、おかげさまで昨年8月末に新園

103名が元気いっぱい過ごしています。

しかし、今年度も新

型コロナウイルス感染

症対策に追われた一年となってしまいました。

园児の安全を最優先し

ながら成長を促す活動

を職員一同、日々考

え模索し、昨年よりもさ

らに楽しく、より充実

した保育の展開に努め

てきました。



動物園がある好立地を活かし、一年を通して何度も足を運びました。春は桜の花びらを集め、夏は展望台の風の心地よさを感じました。また、秋はどんどん木のぬくもりを感じる部屋で0歳児から5歳児までの園児舎への引っ越しも無事に終わり、新しい環境での生活をスタートすることができました。

近くにかみね公園と動物園がある好立地を活かし、一年を通して何度も足を運びました。春は桜の花びらを集め、夏は展望台の風の心地よさを感じました。また、秋はどんどん木のぬくもりを感じる部屋で0歳児から5歳児までの園児舎への引っ越しも無事に終わり、新しい環境での生活をスタートすることができました。

4月から旧園舎に、子育て支援センターおよび特別支援学校が移転し、地域の児童施設として新たな一步を踏み出します。より一層、地域に根ざした施設となるよう努めてまいります。

今後とも地域の皆様に見守りをお願いし、ご理解とご協力をいただければありがたく思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

4月から旧園舎に、子育て支援センターおよび特別支援学校が移転し、地域の児童施設として新たな一步を踏み出します。より一層、地域に根ざした施設となるよう努めてまいります。

今後とも地域の皆様に見守りをお願いし、ご理解とご協力をいただければありがたく思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



必ず協力が得られます。自分たちの持てる力をただ發揮するだけでなく、人としての団結力も生まれ、そこが素晴らしいところです。誰もが世の中の一員として活躍することができる喜びにもつながっていると思います。

そして毎日が否応なく過ぎていき、その中で元気に自分を楽しめながら生きる——このことが子どもたちも安心して自分の生活に没頭できるのではないかというふうに思いました。

これからもスタッフ一同、たくさんの楽しい思い出づくりの場として、微力ながら尽力していきたいと思います。

現在の当サロンの活動としては月1回、本宮老人福祉センターにおいて会場を2カ所に分け、同時に同内容で実施しています。お陰で皆さんも楽しみに待つおられ、毎回90%の出席率を誇ります。

さて、ボランティアの方に内容に応じてお手伝いを打診すると「私でよければ」と、

北町支部

ふれあいサロン・北町

宮田小学校 だより

市立宮田小学校

校長 鈴木裕一



令和3年度も新型コロナウィルスの感染拡大が収束する目途も立たず、以前のように連携・協力した教育活動はできませんでした。

先の見えないコロナ禍にあっても、岩間会長さんはじめ、宮田学区コミュニティ推進会および地域の各団体の皆様方に子どもたちの登下校の時間帯には、見守りや危険個所への立哨、教育月間でのあいさつ運動へのご参加、落ち葉掃きなど、できる範囲での様々ありがとうございます。おかげで、安心な環境の中で、元気な学校生活を送ることができました。

昨年度に引き続き、本校の教育理念の「よく遊び、よく学ぶ」子どもたちを育てるために、昼間お時間のある地域の方々に気軽に学校に足を運んでもらい、「一緒に」子どもたちと遊んでもらう計画を立てましたが、実現には至りませんでした。

しかし、子どもたちなりに元気いっぱいに外遊びを楽しみました。地域の拠点として学校がある限り、「地域の宝」である子どもたちを「学校・家庭・地域」で育てる活動を今後も工夫して考えていくたいと思います。その際には、ご協力をよろしくお願ひいたします。

学校行事では、現地調査や感染症対策を徹底して行い、昨年度実施できなかつた宿泊を伴う6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習が実施できました。4年生から1年生まで校外学習、学年ブロック別運動会など、子どもたちにとって貴重な思い出となりました。また、地域の方からは「校歌」を通して地域の歴史などを学ぶ貴重な機会も得ることができました。

令和4年度こそ、地域の皆さんと「遊び」をはじめ、様々なことで時間を共有したいと思います。今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。

コロナ初年度は、恒例の防犯講話も健康講話も中止となりました。それでも、年末ゲーム大会は何とか実



ふれあいサロン・東友

東町一区支部

代表 小澤恵子

当サロンが開設して14年が

過ぎました。独居高齢者の食事会が廃止になつて「ふれあいサロン」へ移行したのです

が、長く食事会に関わつてい

た私は当初、新しい事業に戸惑いがありました。確かに、地域での介護予防活動は必要不可欠だったのでしょうか。

月1回で始まつたサロン開催は、5年後に偶数月1回、奇数月に2回という変則的実施から、現在の月2回に落ち着きました。月2回となると年間計画も大変で、スタッフ一同、悩んだものです。

14年の間には、東日本大震災があつて一時中断を経験、今はコロナウィルスに怯えながらも、何とか続けられています。コロナ禍に

あるこの2年間は「3密」を避け、AとBの2班に分けて活動しています。感染者の増加のたびに中止の連絡が入り、皆さんへの連絡

がることで盛りました。

コロナ2年目は、防犯講話、健康講話とも開催することができますが、中止になる日もあり、まだまだ油断なりません。唯一新しい活動として、食品ストア「サンユー」が企画する「ぬり絵」をそれぞれの自宅で作成し、その作品を東町店のコーナーに飾っています。ぬり絵も認知症予防の一つとのことです。

一日も早くコロナ禍が収まり、皆さん揃つての明るく楽しい「サロン東友」が開催できることを願っています。





駒王中学校

市立駒王中学校
長 菊 地 治 幸

宮田学区コミュニティ

宮田学区コミュニティ推進会および地域の各団体の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この原稿は2月の初旬に書いていますが、現在本校ではコロナの影響で1・2年生が学年閉鎖を実施している状況です。市内でも多くの学校が同様の措置をとつており、オミクロン株の感染力の強さにただただ驚くばかりです。振り返れば、令和3年度もコロナの不安の中でスタート

一方、ここ宮田学区においては、敬老会や宮田ふれあいまつり、合同防災訓練など、地域の活動が昨年同様に中止になり、地域と関わる機会を持つことができなかつたのが心残りです。ただ、このような状況の中でも「総合的な学習の時間」において日立風流

学校においてはタブレットパソコンの活用が定着し、学年閉鎖の状況になつてもオンラインによる遠隔学習ができるようになりました。昨年度は修学旅行が中止になりましたが、本年度は裏磐梯方面に行き先を代えて1泊2日で実施することができました。その時の3年生の笑顔はとても印象的でした。

せん。しかし、泣き言ばかりは言つてはいられませんのでもう少し、その時点においてできる限りの教育活動を進めていくことが学校の責務であると考え取り組んだ一年間だったようになります。

物の学習を実施することができ、地域の皆様と交流できたことは救いでした。今後も地域と手を取り合つて、生徒たちの健全育成に取り組んでいきたいと考えています。地域の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



シリーズ②① みやたのくらし

岩に、坂本村石名坂青
年会が大正2年に刻ん
だものです。「(手で右
を示す図) 大和田太田
町／石神水戸市方面」、
「(左) 大甕停車場(約
12町)／日立鉱山／方
面」、側面には「(左) 南
高野久慈濱ニ至ル(約

みや
シリーズ(21)
みや
展示していきました。
それを示すような市
南部にある道するべ
を紹介します。

石名坂町の国道6
号の上り線側に「石
名坂バス停」があり
ます。そこから南に
階段を下りると旧道
があり、角に道するべ
が建つ
ています。近くで産する石灰

日立市南部には市の中・北部を案内した大正時代の道しるべが6基あり、その目的地は多賀郡・助川・日立・日立鉱山です。

るべの案内は、時代の息吹を感じさせるもので、宮田や日立よりも村内の日立鉱山の方が象徴的だったようです。日立鉱山の発展は、南部の村々にとつて驚きに値するものだつたのでしよう。

続いて、茂宮町の熊野神社脇に建つ「参宮記念碑」も道しるべの役割を持っています。伊勢神宮に参拝した茂宮町の人々11名が大正9年に建てたもので、「右助川口立方面／左太田方面／南村松方面」の道案内がついています。南から歩いて来て、この碑の前を右に進んだ人々は前述の石名坂の道するべの脇を通り、日立方面へ向かつたと思われます。この道は村松の虚空蔵尊と付近の村々を結ぶ参詣の道であり、数え年13歳の子と親が歩いた道でもありました。

日立市郷土博物館
研究員 綿引逸雄



半里」と刻まれています。大甕停車場とともに日立鉱山と刻まれた道し

北上して日立へ

支部だより

★神田支部

宮田神田町内会解散の顛末

支部長 佐藤 実

宮田神田町内会は「昭和」「平成」「令和」と、約77年続いてきましたが、今年度で解散することとなりました。

その原因是、やはり時代の趨勢でしょうか、役員のなり手が年々少なくなってきたことにあります。今年度の当町内会は2名の役員で出発となり、運営が非常に厳しくなってしまいました。

そこで、町内皆様のご協力をいただき、宮田神田町内会の存続の可否のアンケート調査を実施しました。調査結果は、町内会を存続するの18%に対し、解散するが82%を占め、町内会は解散することに決定した次第です。

しかし、地域の皆様が安心して暮らせるには、宮田学区コミュニティ推進会との連携が重要です。町内会の役割がなくなりつつも、從来から行われているふれあいまつり、防災訓練など、いかに参加できるかが重要な課題となります。これから、宮田神田町内会は神田支部となり、コミュニ

た、コミュニケーションの課題をこれからも大切に進めたいと思います。そのため、まず緊急事態などの災害時に誰もがすぐにも見られる「町内掲示板」を町内の皆様のご協力によって町内各組に設置しました。思い出しますと、戦後の日本中の駅などに掲示板が情報の伝達方法として生かされました。非常時や災害時に誰もが使える方法となるでしょう。最後に、重要なことは普段から隣り近所とのおつき合いを大切にすることです。今後も、そのための努力をしてまいりたいと思います。

今後の課題としては、配布員がいなくなつた時にコミュニティ推進会や交流センターからのお知らせ、小・中学校だよりなど、従来回覧でお知らせしていたことをどのように方法で行えばよいのか悩んでいます。市報配布という細い絆でつながつていた地域コミュニケーションは、配布の負担軽減と引き換えに何かを失つてしまいそうです。

『市報ひたち』は、4月5日号から業者による配布となります。当支部では現在、おおまかにお願いしています。他の支部と同様に、わが支部でも高齢化と過疎化に悩まされており、市報の業者委託については負担の軽減となつ

てうれしい反面、これから地域コミュニケーションの課題も残されています。

当支部地域には、公営住宅

の県営4棟（入居率35%）と市営5棟（入居率60%）をはじめ、戸建て住宅約130戸が居住、5町内会あります。

そのうち、町内会に入つてい

る

駅などが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話がない昨今、夫婦で参加してくれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月からは市報配布が業者によるポスティングになります。これはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それは「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降り口にはプランターを置き、通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの協力者と育てていきたいと考えています。

市報配布の業者委託について

★東町二区支部

支部長 遠藤利秀

年間定例活動で親睦を図る

★足房支部

支部長 船橋良則

今年度もコロナ禍の中、支部活動は輪番制で行われ、毎月第3日曜日の「道路・階段清掃当番」と、市指定日によ

る「再生資源当番」、それから町内幹事による「市報配布」の年間定例活動のみでした。その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話

がない昨今、夫婦で参加して

くれる方も多い、久しぶりの再会は話も弾んで楽しいおしゃべりの場となっています。

さて、昨年10月から街灯代

が

市の負担となり、この4月

からは市報配布が業者による

ポスティングになります。こ

れはありがたい反面、町内会員のふれあいがますます希薄になります。

だからこそ、大事にしてい

きたいものがあります。それ

は「町内花壇」です。数年前に町内の通りと畑の間の土手を整備し、レンガで囲んだ花壇ですが、会員宅からいただ

いたアジサイやスイセンをメ

植え替えをします。階段の降

り口にはプランターを置き、

通行人を楽しませています。

今後も、この活動を多くの

協力者と育てていきたいと考

えていきます。

その中で一番親睦を図れるのが「道路・階段清掃当番」です。町内から旧国道に降りる三つの降り口、二つの階段間の滑川丘通りのゴミ清掃と

番が回ります。ややもす

ると、隣り近所の方とも会話